

巡回型サテライト・オフィスの概要

北海道教育大学函館校
准教授 奥平 理

1. 巡回型サテライト・オフィス実施の概要と会議の進め方

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大による影響が大きく、ある程度感染拡大が落ち着きを見せ始めた9月以降から巡回型ソーシャルクリニック（以下、巡回SC）を開始した。9月中旬に実施した渡島総合振興局との巡回SCについては、Zoomでの遠隔実施を余儀なくされたものの、10月には緊急事態宣言が解除されたことから、檜山振興局と5市町については対面で実施することができた。なお、今年度は事業開始から4年目の2巡目に入ったことから、テーマを「観光」と「教育」に絞って実施した。

会議の進め方としては、前半に大学側からの説明を行い、後半にそれを受けて各地域との意見交換を行った。内容としては、大学側から国際地域学科の趣旨や地域協働活動の現状や履修学生による「観光コンシェルジュ実習」で学んだ内容の説明、附属函館中学校からは「教職大学院の特徴や人材育成」や「附属函館中学校が取り組む遠隔授業や教員研修」への取り組みについての説明を行った。なお、次章以下に各巡回SCでの意見交換の内容を示した。

2. 各地域の主な意見交換内容

第1回 渡島総合振興局【9月15日(水)Zoom開催】

意見交換では、観光コンシェルジュ実習について、「観光ガイドとして工夫していたことは?」「実習の結果は地域に対して活かされるのか?」といった質問や「世界文化遺産登録された『縄文文化』をPRしてほしい」「青函交流促進のイベントを行いたい」などの要望が寄せられた。また附属函館中学校には、「GIGAスクールに関し、イン

ターネット化への切り替えはどのように行ったのか?」「総合的な学習の中で『観光教育』に取り組んでいきたい」といった質問や要望が寄せられた。



第2回 檜山振興局【10月1日(金)檜山振興局】

意見交換では、檜山振興局から「学生の力を借りて観光産業の活性化をはかりたい」「学生目線の観光ルートや、檜山の夕陽をメインとしたイベントの発案をしてほしい」「短期移住施設を活用した滞在型研修を検討してほしい」などの要望が寄せられた。また、本会に参加した檜山教育局からは「学生の郷土愛や地元の仕事への理解を深め、進学や就職後に地元に戻ってきくなるような仕組みを作りたい」「地域と連携した総合的探究活動を計画するアイデアやノウハウを知りたい」といった質問や要望が寄せられた。



第3回 森町【10月15日(金)森町公民館】

意見交換では、森町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進委員会から「交通の便が悪く観光の通り道になっている」「教員が不足している」「森町の魅力を充分発信しきれていない」等の現状説明があり、「森町の桜まつりや魅力的な海産物をPRしたい」「森町のプレゼンテーションを製作し、函館や札幌で発表してほしい」といった要望が寄せられた。また、同委員会の委員長から「是非森町で観光コンシェルジュ実習を行ってほしい」との提案があり、本会に参加した森高等学校の生徒からは「学生のプレゼンテーションが参考になる」「ゴミのポイ捨てについて問題提起したい」等の発言があった。



第4回 せたな町【11月1日(月)せたな町役場】

意見交換では、「インバウンドや観光客を受けとめる体制構築が必要」「廃校舎の一部を共同オフィスとして利用できるよう改修し、活用を進めている」「小学校のオンライン国際交流など実施してきたが、廃校などの問題に直面している」等、せたな町の現状について説明があった。加えて「冬場の観光誘致や、観光客を受けとめる地域の体制構築について学生目線で考えてほしい」「廃校舎を改修したので、大学生にもサテライトの仕組みなどを考えるきっかけに使ってほしい」などの要望が寄せられた。



第5回 木古内町【11月15日(月)木古内町役場】

意見交換では、「観光団体の高齢化が問題になっている」「タブレットを活用したICT学習の必要性が高い」「広報活動として、SNSによる情報発信の基礎を作っている段階である」等、木古内町の現状について説明があった。加えて「学生に観光資源を発掘してもらいたい」「学生とコラボして観光宣伝動画の制作やフォトスポットの発信をするなど、SNSを活用していきたい」「感染症の影響で対面授業が行えない場合の効果的な新しい授業形態を知りたい」などの要望が寄せられた。



第6回 北斗市

【11月22日(月) 北斗市総合文化センター】

意見交換では、「学生が町を歩いていると嬉しいという住民の意見が多い」「北斗市に残る歴史的知識が地域住民に浸透していない」「イベントを開催するための人手が不足している」等、北斗市の現状について説明があった。また「『体験型・着地型観光』のガイドや歴史説明で学生の協力がほしい」「単発ではなく、継続的な学生

ガイドの取り組みを築きたい」などの要望や「附属函館中学校の遠隔授業に使用する機器について」の質問が寄せられた。



第7回 奥尻町

【12月3日(金) 奥尻町海洋研修センター】

意見交換では、「島内での観光スタイルを模索中であり、歴史的観光スポットのガイドを募る必要がある」「島内の移動手段が少なく、タクシーの台数にも限りがあり、交通手段の確保が課題」「宿泊施設が不足しているため団体客の受け入れが出来ない」等、奥尻町の現状についての説明があった。また「学生にWi-Fiフリー（奥尻高校の生徒の受験勉強や進路について、現役大学生がオンラインで相談に乗る制度）に参加してもらいたい」「GIGAスクール構想に向け、オンライン活動で附属函館中学校に協力してほしい」などの要望が寄せられた。



3. 総括

今年度も開始当初から新型コロナウイルスの感染拡大を見据えつつ、巡回の時期を探らざるを得ない状況ではあったが、それでも合計7ヶ所を巡回して、各地域から多くのご意見やご要望を頂戴することができたのは大きな収穫であった。その多くは本学との協働を求めるものであり、こうした地域の熱意に私たちもしっかりと応えていくことが重要である。そして、これからも巡回型サテライト・オフィスを通じて、本学と地域を「協働」の絆で結びつけていくことが必要であることを痛感した。訪問に際し、ご多用中のところをご対応いただいた各地域の皆様には、心より御礼申し上げます次第である。